

井の口まちづくり会通信

設立・平成20年3月23日
 井の口まちづくり会 第13号通信
 発行日・平成25年4月10日
 責任者・小林孝夫(井の口まちづくり会会長)
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
 E-mail・mailto@he.mirai.ne.jp
 事務局長・河崎良史
 通信編集・作成 馬場わかよ(事務局)

5月17日(土)に妙照寺落慶協賛事業を開催

4月14日には妙照寺落慶法要

岐阜市重要文化財に指定されている妙照寺の落慶法要が、4月14日(日)午前10時30分より行われます。この落慶法要は、平成22年秋に着工した本堂と庫裏の改修復元工事が、昨24年1月に完工したことから、もとより全国各地からのご協力によって、350年の歲月をさかのぼり創建当時の姿によみがえりました。土塀も平成21年の春に、井の口まちづくり会が「しつこい塗りイベント」として参加した復元工事によって、250年ぶりの再興がされています。

14日は正法寺(大仏殿)から、大勢のお子さん達による稚児行列が妙照寺まで予定されていますので、皆さま揃ってお出かけください。

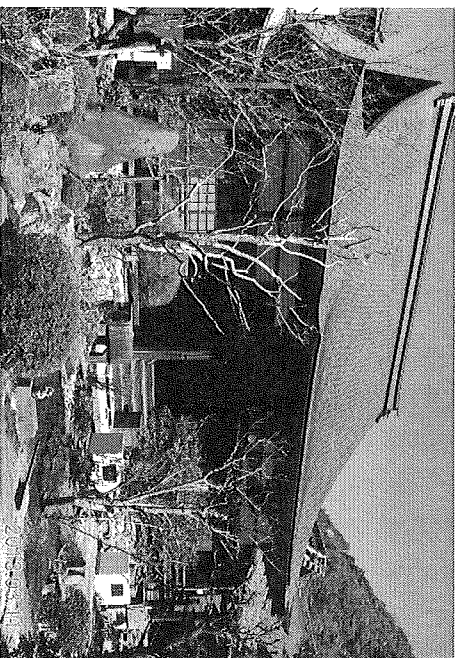
望月良親氏による記念講演会

妙照寺の改修復元工事を記念いたしまして、井の口まちづくり会では、落慶法要から1か月以内に落慶協賛事業として記念講演会を開催いたします。岐阜市歴史博物館の学芸員であり、若きホープと呼ばれた望月良親氏に「芭蕉が見た岐阜」と題して、松尾芭蕉と妙照寺に因んだお話、専門分野である江戸時代の岐阜のまちについてお話しいただきます。

●日時 5月11日(土) 午後1時30分より
 ●会場 妙照寺本堂にて(芭蕉の間も公開します)

落慶記念イベントです。よみがえった妙照寺をぜひ外からも中からもご覧いただき、このお寺の素晴らしさを実感いただけたらと思っております。

詳細はチラシ・ポスター等でまたお知らせします。



平成9年7月31日に岐阜市重要文化財に指定される。本堂正面、左右に飾り付けられた鬼瓦は、かつては本堂棟の東西に上げられていたが、享保4年(1719)から実に294年ぶりに地上に下りたことになる。庫裏は現存する県内の神社・仏閣の中で最古の建造物であると県教育委員会の調査結果がある。中でも芭蕉が滞在した座敷は「芭蕉の間」として有名。

●日時 平成25年4月29日(祝) 午後1時30分～(受付開始は午後0時30分)

●場所 岐阜市歴史博物館 1階講堂

井の口まちづくり会会長 小林 孝夫
 井の口まちづくり会は発足満5年が過ぎ、手さぐりで進めてきました活動も、会員皆さまのご理解とご協力で一定の成果を生んできたものと確信しております。今後も更なる発展を祈念するものであり、本年度の総会も多くの来賓の方々をお招きして開催いたします。会員のみならず、ご近所お誘い合わせのうえ、ご来場されますことをお願いいたします。



昨年度(10月)の「まちなかお月見アート」で大仏殿裏側に掲げられた揮毫作品

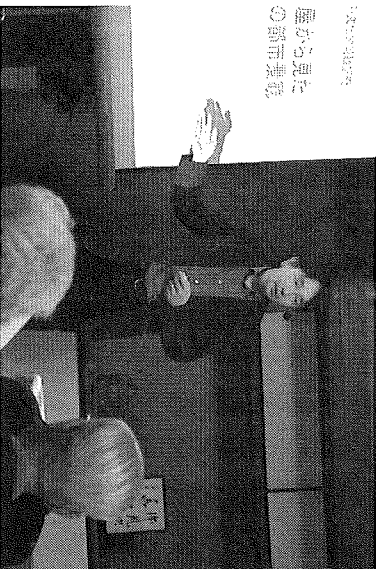
「金華のまちが醸し出す文化と歴史」総会特別講演

総会に合わせ、京都工芸繊維大学准教授、清水重敦先生による基講演をいただきます。

清水先生は岐阜市教育委員会の委嘱を受けて、金華地区の歴史建築物の調査を実施されています。現存する建物形態から、当時の生活様式や生業(なりわい)の様相など、培われた金華の歴史文化について切り口を交えた分析をされ、このまちの歴史と都市構造変遷にまで考察を広げられていて、とても興味深い内容です。

また、建物が語る「証」をもとに、建築学的視点と文化的景観の視点から発想される清水先生のお話は、きっと私たちを金華地区全体の原風景の中へ誘っていただけると期待しています。まちを知り大切に思う気持ちの再確認になるものと思います。

(小林孝夫)



京都工芸繊維大学准教授・前奈良文化財研究所景観研究室長 清水 重敦氏

平成25年度の会費に関するお願い!
総会受付にて会費納入をお願いいたします
 会員の皆さまには日ごろからまちづくり会活動へのご協力、本当にありがとうございます。定期総会へお越しいただき、受付にて25年度会費を納入していただけますようお願いいたします。

当まちづくり会の特色として、大勢の地区外会員の方がおられます。総会はもちろん地区外会員活動にも積極的に参加いただき感謝しております。しかし、通信などの郵送代金等の経費増により誠に申し訳ございませんが通信費負担分として、今年度から金華地区以外の皆さまには、会費を1,000円以上にさせていただきますようお願いいたします。

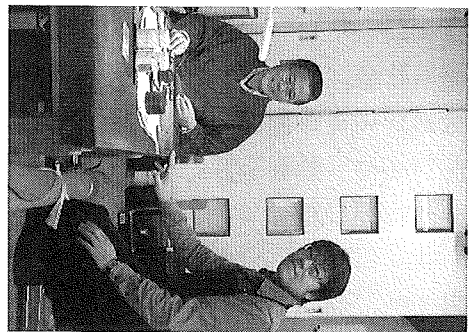
平成25年度自治会長の皆さまへ「地区内自治会長会議」にご出席をお願いします

自治会長の皆さまには日ごろから大変お世話になっております。毎年度、井の口エリア内の自治会長の皆さまに、井の口まちづくり会の活動に対するご理解とご協力をいただくための現状報告会を行っております。今年度は5月20日(月)に、本会の年間スケジュールのご紹介とともに活動報告の機会を設けてさせていただきます。改めて自治会長の皆さまにご案内を申し上げますので、ご出席をよろしくお願いいたします。

まちなかお家アート発見 宇野カバン店

先代が昭和25年に始めたカバン店は、業務用携行鞆の製造と修理が主でした。昌(あきら)さんが継いでからも中電との取引は50年以上に及び更にオリジナルバッグや手作りランドセルの店として知られています。震災があった一昨年、京都で市役所勤めをしていた幸晴さんは、震災による命のはかなさを感じて自分の人生を見つめ直す気持ちが沸き起り、生まれたこのまちや両親の仕事を考えているようになりました。そして、カバン職人の三代目の道を継ぐために戻って来ました。

は、「仕事場が遊び場であったから子どもの頃から見ていただけ、実際にやってみると難しいことの連続です。昔からコミュニケーションが取れている家庭なので、短期間に習得できるよう、分かりやすく教えてくれます」と仕事が楽しそうです。このまちに残るものづくりのルーツ。それを受け継ぎ次の世代へバトンをタッチしていくこと、そこには確かな親子の絆があります。(馬場)



手づくりランドセルが有名です。6年間使ったものをミニランドセルやリメイクしてペンケースにという依頼もあって、愛着のあるものは直してでも使いたいらと、お手持ちのカバンの修理もしています。

平成25年度 事業計画(案)

25年度の事業計画案が各部会ごとに現在進められています。日程などが確定していない事業もありませんが、年間計画をご案内いたしますので、多数のご参加をいただきますようお願いいたします。

- 4月29日(祝) 平成25年度総会
特別講演 清水 重教氏
会場 岐阜市歴史博物館
- 5月11日(土) 妙照寺落慶協賛事業
記念講演 望月 良親氏
会場 妙照寺本堂
- 5月20日(月) 地区内自治会長会議
会場 正法寺庫裏
- 6月未定 井の口歴史講話会
講師 北川 英生 住職
会場 常在寺
(まちの歴史探索部会)
- 7月6日(土) まちなか七夕アート
7日(日) セタコンサート
鷺見孝子さん(ソプラノ)ほか
会場 河村邸
(まちなかアート部会)
- 7月中旬 大仏フェスタイベント
(協賛・イベント部会)
- 9月未定 御館街道ウォーク
(協賛・イベント部会)
- 9月～10月未定 今泉排水路に関する勉強会
(まちの風景検討部会)
- 10月14日(祝) まちなかお月見アート
岐阜女子大学書道部学生による書道パフォーマンス
会場 大仏殿
19日(土) お月見スタンプラリー
振る舞い会場 伊藤家
(まちなかアート部会)
- 10月下旬 信長公居館跡地の発掘状況報告と視察会
(まちの歴史探索部会)
- 12月1日から 大仏様への年賀状受付開始 (1月10日まで)
- 1月中旬 大仏様への年賀状展
会場 画廊光芳堂
(まちなかアート部会)
- 2月未定 井の口寄席
会場 妙照寺本堂
(イベント部会)

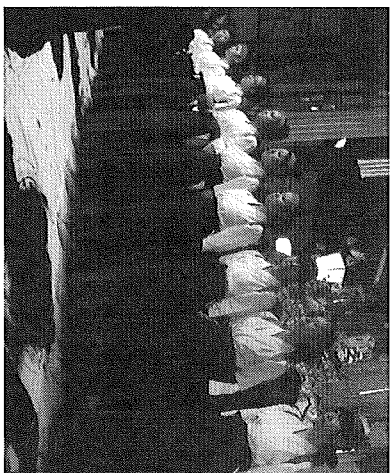
会員・部会員募集 一緒に活動しませんか？

右記の行事に出かけられた方やこの通信をご覧になって、「井の口まちづくり会って、どんな人がどんな活動しているのだろう?」と興味を持っていただけたのなら、会員からさらに部会に入っていたら、一緒に活動しませんか? 申し込みは簡単。総会の受付に来て声をかけてくだされば、その日からまちづくり会の仲間です。

事務局を担当している ただける人を募集!

コンピュータが扱える方、フットワークの軽い方いませんか? 事務局長の交代が予定されています。みなんで新しい事務局長を捕佐していくためにも事務局メンバーの補充が必要です。このまちに暮らす若い方の参加をお待ちしています。

岐阜市内や近郊の皆さまから大仏様がいただいた年賀状と、会員宅に届いた手づくりの年賀状を合わせた270点を1月11日から3日間、今年も画廊光芳堂にて展示しました。



揮毫後に整列する学生の皆さん

同夜のスタンプラリーは雨が強くなつたため中止し、ぜんさいの振る舞いだけをしました。

大仏様への年賀状展



傘を差してウォークに集まった皆さん

あいにくの雨の中、9月23日御館街道ウォークが行われました。スタートの岐阜公園総合案内所前では、地元の木挽太鼓が力強い演奏で細江市長の率領を先頭にした荷運び隊を送りました。

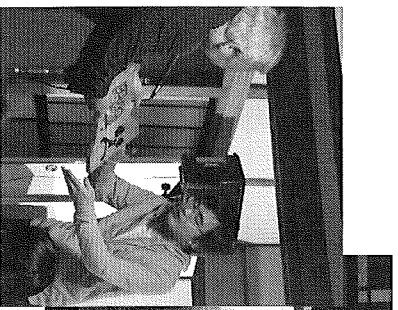
イベント部会 御館街道ウォーク



「大仏様への年賀状展」に訪れた人たち

昨年からは、小雨のため大仏様の足もとで行った岐阜女子大学書道部の学生たちによる揮毫パフォーマンスがあり、竹筒のキャンパルの幻想的な雰囲気の中、外国人観光客を含む百人余りが一筆ごとに見入りました。

拍手の多さで決まった最優秀演者には、まちづくり会から手づくりの記念の盾が贈られました。



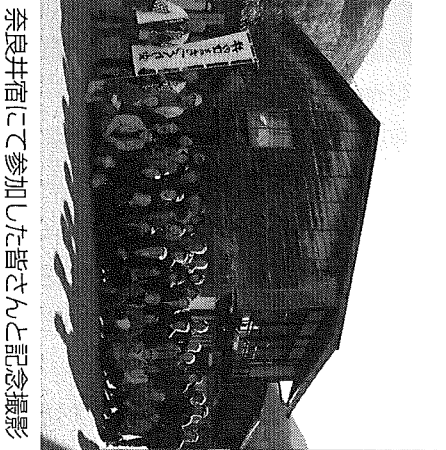
井の口から大仏の橋を贈呈

井の口寄席 第10回全日本学生落語選手権が2月24日に行われ、選手権に参加した学生8人が、正法寺を会場にした「井の口寄席」でも表情豊かな演目を披露してくれました。



観客から笑いが起こる会場

再び奈良井宿に展り、2班に分かれてツアীগアイドによる旧街道沿いの伝統的建造物の見学説明を受け、自由時間には奈良井宿のお土産を買って帰途につきました。いただいた方々に感謝いたします。



奈良井宿にて参加した皆さんと記念撮影



木曾平沢の様子

井の風景検討部会 部会長 木野村英機
町並み保存で名高い旧中山道沿いの平沢地区と奈良井宿へ、11月18日に総勢42名で出かけました。奈良井宿にて昼食を済ませ漆工の町・木曾平沢へ移動。町並み保存会の皆さまから会の立ち上げの経緯と重要伝統的建造物群保存地区に選定された苦勞話を聞き、地区内を案内していただきました。

「井の口まちづくり会通信」第11号(6月10日)と12号(10月10日)を発行しました。11号には、まちの風景検討部会が行った「井の口住民アンケート」の集計結果報告を号外として付けました。



熱心に居館跡地で説明を聞く参加者たち

まちの歴史探索部会 部会長 中村 末雄
居館跡地発掘調査報告会 部会長 伊藤 逸夫
今年11月24日、信長公居館跡地の発掘調査報告会が、岐阜市教育委員会の主催、井の口まちづくり会の協賛で行われました。480人という沢山の参加が得られ、歴史愛好家たちの関心の高さにびっくりいたしました。今回の報告は、通称「千景敷」と呼ばれている地区が中心です。信長の居館があったといわれている場所であり、庭園の池跡が見つかったり、特別な客人をもてなす迎賓館のような場所であったことなどが判ってきました。

大輪の薔薇や牡丹の美しさにはかなわなければ、一つの花が元気を無くしても、ほかの花たちが頑張つて、小さな花々が競うように咲けば素敵なツクエができるはずですよ。事務局 馬場わかよ

女性でも男性でも問いません。方でも還暦過ぎであっても、また、さえあれば大丈夫。どんなにお若いのまちが大好きという気持ちと情熱をお持ちの方もいます。この井の口活動に生きてきます。技術や特技を今まで培われた経験はまちづくりから敷居は決して高くありません。することをモットーにしていますか。まだまだ発展途上です。楽しく活動をかけていただけませんか。当会はようと思われる方、総会の受付で声か一緒にまちづくり会活動をしてみ

事務局長だより
今年の冬は寒さが厳しく、梅の開花はなかなかかでしたが、桜の開花は例年より早く、今では至るところに春の花々が咲き誇っています。この美しい井の口のまちが大好きで、もっと素敵なまちにしたいと頑張ってきた事務局長の河崎さんが体調を崩し、こしばらく事務局の活動が停滞しています。まちづくり会の要である事務局の弱体は大きな痛手であり、体調が回復するまでの代役の必要に迫られています。井の口まちづくり会も足らぬ年目に入り、会員の方たちの高齢化が問題になっていきます。そこで、どうか一緒にまちづくり会活動をしてみ